

地域おこし協力隊について



弓座 秀之 議員

質問…大田原市は、平成27年からの導入と思うが、これまでに地域おこし協力隊を導入した延べ人数を伺います。

答弁…平成27年6月から任用し、これまで25名を任用しました。

隊員の活動内容は、観光事業の企画、中心市街地の活性化、就業を目標とした農業振興、中間地域振興を目的とした鳥獣被害対策、スポーツによる健康増

進及び地域振興、芸術文化の振興に資する活動等でございます。
質問…隊員導入後の成果、効果について伺います。

答弁…川西地区でアスパラガス

農家として新規就農した隊員が1名、与一くんを活用した情報発信事業をしていました。隊員1名が本年5月退任後、両郷地区に定住しています。その他、本年度中に3年間の任期が満了す

る隊員が6名いますが、全員本市に定住する意向を持っていて、隊員自ら任期満了後に起業することにより、定住、定着する準備を進めています。

質問…体験入隊制度ができたとき積極的に取り組むか伺います。

答弁…今後国からの情報等を収集して、制度の導入について研究、検討してまいりたいと考えています。

一般質問



前野 良三 議員

新庁舎におけるイベントについて

質問…新庁舎開庁後における催し物の予定についてお伺いします。

答弁…新庁舎につきましては、

平成30年11月末の完成、平成31年1月4日の開庁に向け、現在予定どおり工事が進んでいます。開庁時には、来庁者駐車場等のスペースに制約があることから、テープカットなど小規模な開庁式を予定しています。グラウンド

オープン時には、市の震災復興のシンボルと位置付けた新庁舎の完成にふさわしい式典を開催したいと考えています。この新

庁舎には、市民と行政の協働機能や交流機能を充実させるため、多様な情報を発信するための展示スペース等を整備し、市民の皆様が参加するイベント等の開催について検討を進めています。また、1階エントランスロビー、

2階ラウンジにおきまして、ミニコンサートや写真展の開催、市民の皆様が芸術作品に触れることができる機会の提供を考えています。また、作品の展示にあたりましては、大田原市文化協会が主体となり、絵画、写真、

工芸、陶芸、短歌、俳句、盆栽等の作品を展示するほか、市が所有する本市ゆかりの芸術家の作品など展示する予定です。